

長松小学校学校だより

R6 年 7 月 4 日発行

えがおいっぱい 37 号



「いじめアンケート」保護者様からご回答ありがとうございます

回答 1 帰り道に「いじめだよー」と言って帽子をとられた事案

→担任と言われた子、言った子 3 人で相手の気持ちについて話し合っています。きちんと子どもたち同士、謝罪をしました。

回答 2 傘でたたかれたり、ものは戻ってきたが、とられたりもした事案

→友だちとのかかわりについて指導をしています。保護者様と担任との連携を深めて、しばらく経過をみています。

回答 3 友だちから蹴られたり、パンチされたりする事案

→友だちとの言葉でのかかわりについて指導をしています。暴力の前に言葉で解決する大切さを話しています。

回答 4 カビゲゲームといって、友だちの上に数名が重なり乗りする事案

→命に係わることなので遊びに対して禁止を告げています。廊下での遊びについてもあわせて指導をしました。経過を観察しています。

回答 5 名前をつかっただけの「からかい」事案

→名前は大切なもの、名前と人権について担任より指導をしました。学年でも名前や呼び捨てについて、指導をしています。

回答 6 嘘をつき仲間外しや無視をされていた事案

→言われた子、言った子双方から事実の確認をしました。嘘をつかれた子の悲しさ、寂しさについて話し合いました。経過を観察しています。

回答 7 バカ・死ねなど言葉によるいじめがあった事案

→言葉の暴力、まして「死ね」という言葉の重大さを担任が指導しています。繰り返し繰り返し、言葉のもつ暴力を話しています。経過観察です。

回答 8 どけ・じゃまといわれた事案

→状況を聞き取り、密集した中でのこの会話を確認しました。言葉の持つ暴力性について話をしました。経過観察しています。

回答 9 靴箱のくつをひっくり返されていた事案

→そのあと 1 度もないということから、経過を観察しています。



何より「人権」の指導を伝えています。「あなたも大切な存在です。友だちも同じように大切にしましょう」という考えです。子どもは小さいけれど、確実に人権を持っています。そこを教育の力で根ざしていけるように、人間関係を作ります。人を馬鹿にしたり、さげすんだり、そのような行為がないように、繰り返し呼び掛けていきます。保護者様のご協力に感謝しています。